

目次

新年度を迎えて	1
1年を振り返って	1-3
花見	2
新人歓迎会	3
告知情報	4



ご挨拶

皆様、こんにちは。駆け出しセンター長の甲斐です。ゴールデンウィークも過ぎて新緑が眩しい季節になりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。横療は大改修工事後の業務再開からちょうど1年が経ちました。一度完全に休んだ業務を再度軌道に乗せるのは思いのほか手間と時間が掛かり、バタバタと1年が過ぎてきましたが、現在は利用者・患者の皆様は以前通りの落ち着いた生活を送り、日々笑顔を見せてくれています。各部署では毎日忙しい状況が続いているものの、施設全体は穏やかな空気に満ちている感じがします。私もセンター長3年目に入り、そろそろ駆け出しなど言い訳を言てはられない時期になってきました。次の逃げ口上を考えなければなりません。

ところで元駆け出しセンター長は2年前に赴任した時に、職員全員と2つの約束をしました。ひとつめは、運営に関わる物事を決めるときには職員が納得できるように説明をする、つまり説明責任を果たすことで、ふたつめは、物事を決めるときにはその過程を逐次明らかにしながら進める、つまり透明性を確保すること、でした。何か業務計画を進めるときには折に触れてこの2つのスタンスが守られているかを職員にチェックしてもらっています。そうすることで職員が日々の仕事を納得しながら行ったり、やりがいを見いだしたりすることができて、仕事への満足度が高まると同時に、その気持ちが利用者さん、患者さんへの質の良いサービスの提供に繋がると思うからです。現実には全てがうまく行っているわけではありませんが、今後もこのような姿勢で横療を運営していきたいと思っています。

さて、横療は今年度、4つの事業目標を立てました。

項目だけ挙げると1. 在宅支援事業の拡充、2. 長期入所者の生活の質の更なる向上、3. 福祉・医療サービス機能の地域還元、4. 職員の満足度の向上、です。最初に在宅支援を挙げましたが、具体的には夏を目途に重症児者の放課後等デイサービスを始め、また現在当センターに通院している方に対する訪問診療を開始しようと計画しています。自宅や学校で普段の生活を楽しみながら、必要なときには適切に支援を受けられるということが、障害の有無にかかわらず基本的な生活保障だと言えます。今年度、横療は他の障害福祉施設とも連携を取りながら、皆様の在宅生活を支える役割を果たしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

センター長 甲斐 純夫



横浜療育医療センターから見える桜

1年を振り返って（通所）

通所

高校卒の18歳から40歳代の方までが利用されている当センター通所は、地域でご家族と一緒に生活しておられたり、グループホームや施設入所支援を利用してご家族と離れて自立生活を始めておられたりとそれぞれですが、みなさん帰る場所があって、通ってくる場所がある。利用者様自身が社会参加している実感を持っていただく場所であり続ける必要があります。

「活動」では仲間との共同作業や協力してつくり上げる経験をしていただけるようにと、「石鹸作り活動」などを行っています。石鹸は利用者様が直接販売する機会も設けており、近隣の方々やセンターをご利用のたくさんの方々と交流出来るツールとなっています。

なにより一番は、通所を利用していただいた方が「来て良かった」「また来たい」と思っただけのように、またご家族が安心して「いってらっしゃい」と送り出せる場所であり続けることだと思います。そして利用者様お一人お一人が表現した思いをしっかりと受け止め、その思いを反映させた主体的な活動を支援できるように取り組んでいきたいと思っています。

通所課長 藤塚

1年を振り返って（A棟、B棟）

A棟

咲き誇っていた桜が散り、日に日に陽ざしが強くなる毎日に、昨年5月1日に港南から横療へ帰ってきた日を思い出します。ご利用者の皆様は横療に帰ってきた時に困惑されないだろうかと心配していましたが、リフォームされたとはいえ、住み慣れた場所に戻ってきて皆さん安心されているように見えました。

A棟は、以前の20対1看護体制から変わり10対1看護体制をとっております。これは、医療ニーズのあるご利用者様も安心して望まれる生活及び活動を送っていただけるように体制変更を行いました。

またご利用者様に関しては、昨年6、7月に3名の方が新たに入所され、今年1、2月には、ご利用者様に棟間移動にご協力いただきまして、A棟での生活を始められました方もいらっしゃいます。そして4月以降には、何名かの方が入所されて新たな生活を始められる予定です。

昨年度は、グループ活動でお目当ての映画を見に映画館まで行き、初秋の頃に湘南・逗子ドライブや本牧・根岸森林公園で散歩を楽しむなどの活動を実施しました。夏には近隣地域の新桜ヶ丘町内会夏祭りに参加し祭りの雰囲気を楽しみ、春には還暦を迎えられた方への棟内セレモニーなど、棟内外で季節の移ろいや人生のイベントを感じ楽しんでもらっています。

医療ニーズのあるなしに関わらず、その方らしく生活し人生を輝かせていただけるよう支えていくのが横療の使命でありA棟の使命でもあります。

施設設備など生活空間のリニューアルとともに、スタッフやご利用者様も新たに加わり、新しい風を取り入れながら、ご利用者様の生活を皆で一生懸命作り上げている状況です。1年を越えるごとに、ご利用者皆様の生活満足度が上がっていくように努めていく所存です。

A棟課長 渡辺・町田



B棟

昨年5月 横浜療育医療センターに戻ってきてから、冬場の感染症が流行することもなく早1年が経ちます。棟内はきれいになり、居室も以前と比べて少人数部屋になりました。浴室には、シャワードーム（ミスト浴）も増設され、入浴のバリエーションが増えました。春には第五公園にB棟利用者全員で花見に行きました。✿長寿のお祝い会も毎年数件あり年齢と共に細やかな気づきを大切にしています。

新しい長期利用の方を迎え、明るい雰囲気大切に、利用者の皆さまに寄り添いながらその気づきを皆で共有し、生活がよりよくなるようにスタッフ一丸となり、取り組んでまいります。30年度は、『今できることは今行なっていく！！』という思いで、個別支援計画の充実、外出活動やグループ活動を提供させていただきます。

B棟課長 田村・木村

花見

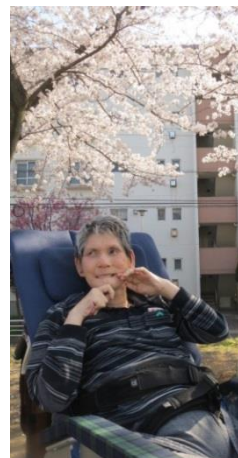
4月新緑の鮮やかな季節になりました。

「今日はB棟のみなんで、第5公園までお花見にきました！」

「満開だね」「きれいだね」あちらこちらで会話にも花がさきました。

近所の第5公園は、お散歩で良く利用させていただいています。

見かけたら、是非声を掛けて下さいね。



1年を振り返って（C棟、日中活動室）



C棟

激動の1年でした。

昨年5月に、港南からリニューアルした横療へ戻って参りました。

この引越しを機に、別の棟からC棟へ移って来られた利用者さんもいらっしゃいましたし、新しく長期入所になられた利用者さんもいらっしゃいました。職員も、異動や新入職で入れ替わりがありました。建物自体は以前と変わりがありませんが、C棟もA・B棟と同じように、新しいC棟として再スタートをしています。

なにかと慌ただしい毎日ですが、利用者さんやご家族の皆さんの笑顔からエネルギーを頂いています。新しい30年度も、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分等、利用者さんがご家族と一緒に季節を感じられる行事を棟として行って参ります。事前にお知らせをしていきますので、そうした際にはぜひご参加頂ければと思います。

看護師と支援員が協力をし、利用者の皆さんの生活が、健康で楽しいものとなるよう頑張っています。本年度もよろしくお願ひいたします。

C棟課長 林・宮寺

日中活動室

昨年5月、横浜医療福祉センター港南から横浜療育医療センターに帰って来ました。

日中活動室は再出発となり、スタッフも3名から6名に増え、活動室も2室になりました。棟スタッフの協力を得て、29年度より1人月5回～6回の活動を提供させて頂きました。

スヌーズレンやマッサージ、音楽やWIIを使っているゲーム、ポウリング、くるみボタンなどの制作などを行っています。また、ボランティアの皆さんからは、ピアノ、音楽リズム療法などの生の音楽の提供を受け、生け花、寄り添いボランティアなどでも利用者の皆様と一緒に活動させて頂きました。

横浜市立大学の学生さんからは、誰でも参加できるオープン活動という企画で楽四重奏

の演奏会を行いました。普段聴く事がない弦楽器の素晴らしい音色に皆さんもうっとりされていました。

そして、横浜医療福祉センター港南との交流活動として、横浜美術館子どものアトリエ・夏祭り・ラウンド1でのポウリング大会などを行い、大人数で盛り上がりました。

地域交流では、新桜ヶ丘保育園や保育室ひかり、藤塚小学校・通所との石鹸作りなど地域のこども達と明るく楽しい貴重な時間を一緒に過ごしました。

30年度は、ボランティアの方、交流活動先が増えます。新たな出会いが利用者様の人生に違った彩りを添えてくれるのではないかと考えています。日中活動室としては、更に質の高い活動、笑顔や楽しいと思いつける時間を提供できるよう取り組んでまいります。よろしくお願ひいたします。

日中活動室主任 岩佐

新人歓迎会

4月20日、前年度の4月以降に入職した職員の新人歓迎会が行なわれました。

会は2部構成で行われました。

前半パートでは、新入職員ひとりひとりがステージで挨拶を行いました。

マイクを握る手に緊張感が窺えましたが、立派に挨拶を行いました。

後半は会食を行いました。

空腹も満たされ現職員と新入職員の会話ははずみ、とても和やかな雰囲気です。



告知情報

ボランティア大募集！！

横浜療育医療センター

あなたとの出会い、そして笑顔を持っています♪

<活動内容>

- 日常生活のお手伝い（ドライヤー・お風呂・部屋の飾りつけ）
- 歌や、楽器演奏、読み聞かせ、石鹸作り など。

<活動場所>

重症心身障害児（者）施設 社会福祉法人 十愛療育会
横浜療育医療センター
〒241-0014 横浜市旭区市沢町 557-2

<活動時間>

9:30~15:00 の間なら何時間でも！！

<その他>

交通費補助（500円）
※午前・午後にかかる場合 食事代補助あり500円

＜お申込み・お問い合わせ＞

横浜療育医療センター 担当：藤塚（平日9:00~17:00）
電話番号 045（352）6551



福祉車両贈呈式



このたびは、神奈川福祉事業協会福祉車両助成事業により、当施設での訪問事業などで使用する車両を寄付して頂きました。神奈川福祉事業協会の皆様にはとても感謝をしております。大切に使用して行きたいと思っております。



【交通のご案内】

- ① 相鉄線和田町駅より
相鉄バス（浜19）
「新桜ヶ丘団地」行「県公社住宅前」下車
徒歩2分
- ② 相鉄線二俣川駅南口より
相鉄バス（旭6）
「左近山第6」行または「東戸塚西口」行
「左近山第6」下車 徒歩6分
- ③ JR 東戸塚駅西口より
相鉄バス（旭6）
「二俣川駅」行「新桜ヶ丘保育園」下車
徒歩5分



社会福祉法人 十愛療育会

ロゴの意味：オキザリスの花（花ことばは、輝く心、母の優しさ、和）がモチーフです。黄色い花は障害のあるご本人を、ピンクの花は母の優しさを、左右の三つ葉は、医療と福祉を、オレンジの輪は、それを包む温かい社会を意味しています。

編集後記

寒い季節が過ぎ、横浜療育医療センターにも春の訪れを感じます。暑くなったり、寒くなったりと気温が安定しませんが、体調管理に気をつけてこれからも横浜療育医療センターの情報を発信していきたいと思っております。（I.W）